

電気も自分で作りませんか？

災害は忘れないうちにやってくる。



いつか来る!!
大規模災害!!

特定非営利活動法人

ZSVN ざま災害ボランティアネットワーク

連絡先: zama.saigaiVN@gmail.com

後援

座間市長室危機管理課・座間市教育委員会
座間市社会福祉協議会・SLかながわネット

電気の基礎を知って、無理のない範囲で 災害時の「私の家の専用電力」を確保しよう!!

災害時にの備えは、先ずは「トイレ」→「水」→「食料」そして、情報・灯りの確保ができるかにかかっています。

2018年9月の北海道胆振東部地震では、全道が「**ブラックアウト**」になりました。また2019年房総半島では台風によって電気が絶たれました。公式には3日後には復旧したといわれていましたが、末端では約10日間も停電が続きました。



いま、地球は活動期に入ったといっても過言ではありませんか？
我が国の、雨の降り方が異常です。次々と起きる火山の噴火。
地震も太平洋沿岸部は北方領土から三陸、福島、茨城、千葉に至る線上、さらには東海からいわゆる南海トラフ、奄美、沖縄、石垣島に至る線上で多発しています。2023年9月には、明治以降の大震災といわれている「**関東大震災**」から、100年を迎えます。(神奈川県は東京よりも被害が大きかった)

過去の災害の歴史を見ると、巨大地震と巨大地震の間にはM7クラスの地震がある程度、規則性を持って発生しています。

いま、私たちが備える地震は「**首都南部直下地震**」です。この地震が起きると座間市周辺では「**震度6強**」の揺れが想定されています。

その時、皆さんの家の電気はどうなるかを考えたことがありますか？ 首都が大規模地震で襲われたら、衛星市町への復旧作業は遅くなることが見えてきませんか？

エレベーターも動きません。マンションはどうなるでしょう？

介護の機器類も使えなくなります。様々な見方がありますが、「通電火災」を防ぐために、簡単に電気は復旧しないことを覚悟しなければならないと思います。無論、水道もダメになると思わなければだめです。

自分の手で作る「マイ発電所PT」に参加しませんか？

もし、電気が無くなったら “スマホ世代”は、耐えられません。

頼みの綱の**LINE**も使えるのかもわからない！

携帯基地局が停止すれば通信はできません。オール電化の家は機能不全になる危険性があります。

私たちの「マイ発電所PT」は、①「電気の基礎」を学んで、②「我が家の必要な電力」を計算して、希望するサイズの③「マイ発電(蓄電)所」を作る3ステップを踏んで「自分の手で発電(蓄電)」装置を作る、まさしく、生き延びるための「自助活動」に取り組んでいます。(既設台数 83基)

I 2022年度2回目のコースは次の日程です。

①基礎編:「電気の基礎を学ぼう」 2023年1月28日(土曜日)13時から

②応用編:「我が家の電気のサイズは？」 2月25日(土曜日)13時から

③実践編:「自分の手で組み立てよう」 3月18日(土曜日)13時から

★会 場:サニープレイス(座間市総合福祉会館・市役所となり)《予定》

II 選択タイプ

①小容量力タイプ ……………スマホ充電・照明に絞った小型タイプ

②小容量・長寿命タイプ ……照明とスマホ充電、低消費電力家電

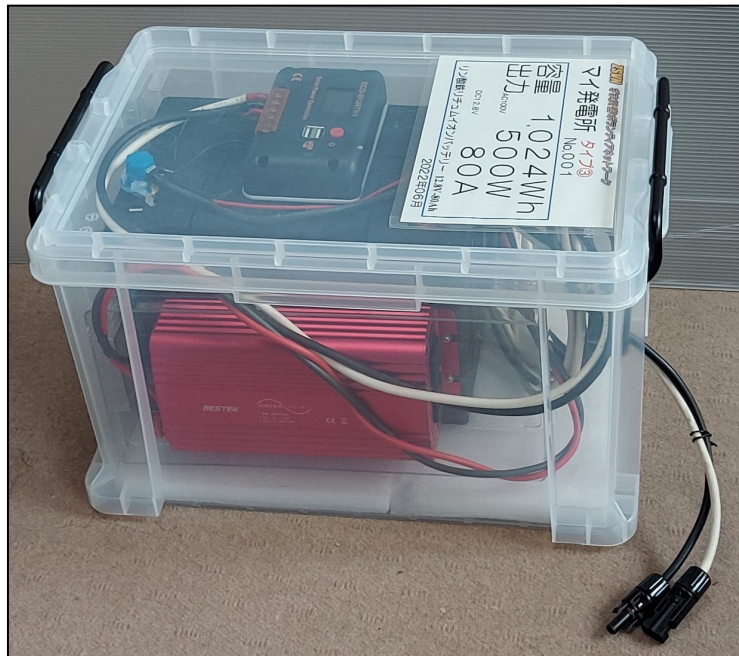
③中容量タイプ ……………上記のほか家電機器も動かせる中容量タイプ

④大容量高機能タイプ…… 短時間ですが電子レンジも動かせる大容量タイプ

②小容量・長寿命タイプの概要

- 蓄電容量:510Wh,太陽光パネル50W
- 出力:交流300W,DC12V-240W、USB(5V-2A)×6ポート
- 出力の具体例 《灯り》LEDランタン(3W~5W)を100時間点灯
《情報》20Whのスマートフォンを20回充電
《暖房》電気毛布“中”で12時間程度使用可能

★費用は、セミナー2回と機器代+組み立て指導料を含めて6万~です。
(パネル50W・標準設備型設置条件)



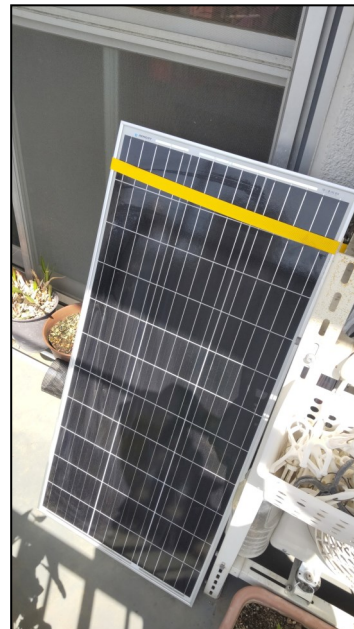
タイプ3型 設置例



タイプ2型 設置例



タイプ4型 設置例



100W太陽光パネル

ホームページQRコード



NPO法人 ZSVN マイ発電所プロジェクト申込書(メール用)

お名前	人数 名	
ご住所		
連絡先	電話	MAIL:
申し込み区分	① 購入(WS参加) ②受講のみ ③ 見学(500円)	

申し込み締め切り:2023年1月24日(火)

ZSVN メールアド:zama.myhatuden@gmail.com

★個人情報の取り扱い:お預かりした個人情報は、当企画以外には使用しません。